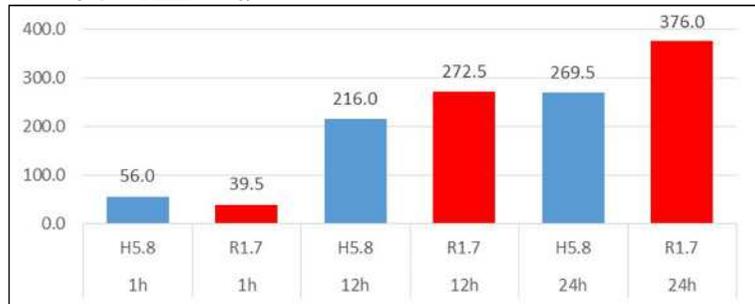


令和元年6月末からの大雨に対する河川整備の効果

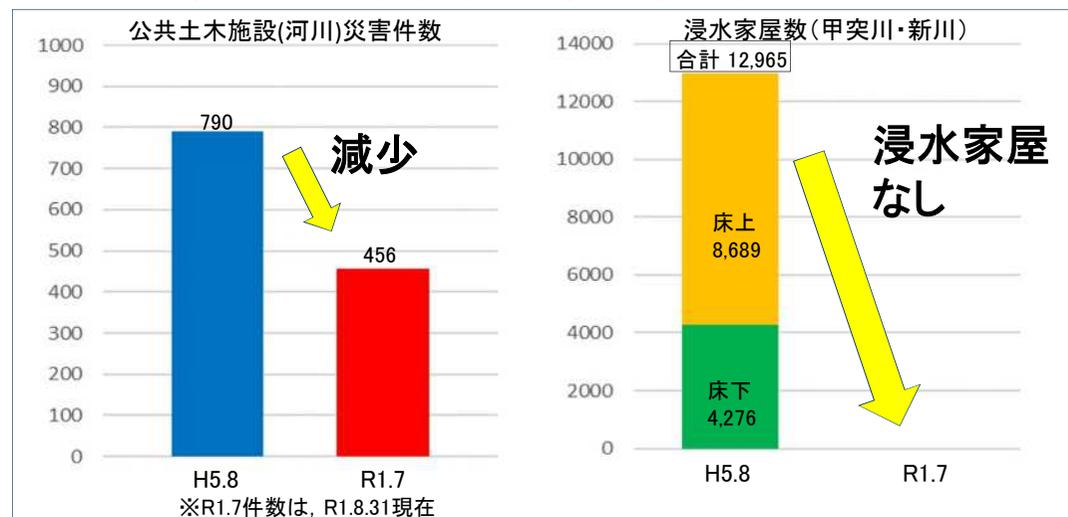
河川激甚災害対策特別緊急事業 等
2級河川 甲突川等

・平成5年の8・6豪雨で被害を受けた河川や、近年、著しい住宅浸水被害が発生した河川について、重点的に整備してきた結果、公共土木施設(河川)災害発生件数や浸水家屋数が減少しています。

○ 降雨量比較 (局名:鹿児島地方気象台)



○ 公共土木施設(河川)災害件数及び浸水家屋数の比較

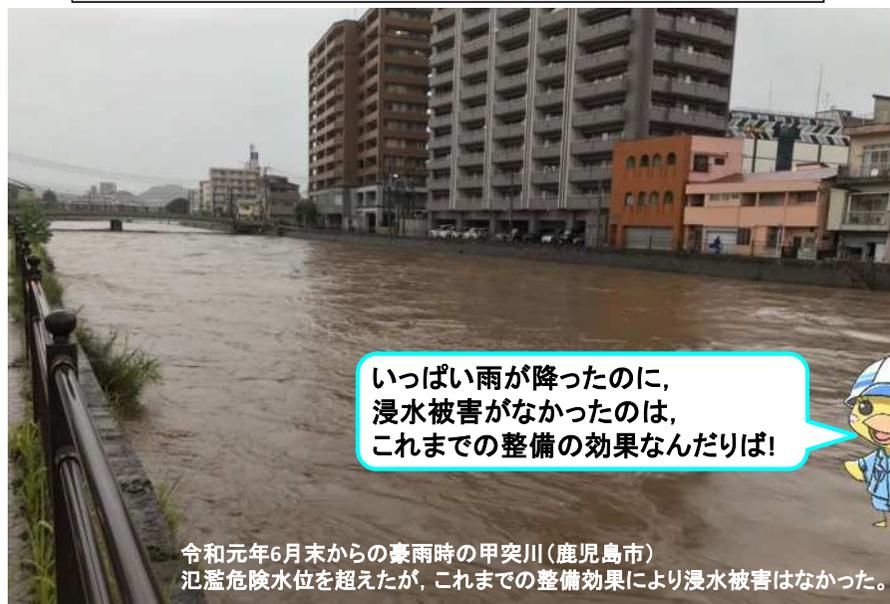


○ 整備事例

甲突川(河川激甚災害対策特別緊急事業等)



新川(床上浸水対策特別緊急事業等)



○ 河川整備状況

	平成5年当時	平成30年度末
要改修延長	1879.8km	1913.4km
改修済延長	463.9km	886.7km
整備率	24.7%	46.3%

約22%増

※改修済は、雨量60mm/hrに対応。